

だいせん市議会だより

あなたのギカイ

令和6年8月1日 第77号 4月臨時会・6月定例会の内容を分かりやすくお伝えします。

市政懇談会を開催しました

CONTENTS

- こんなことが決まりました…………… P 2
- 聞いてみたいなこんなこと…………… P 6
- 市政懇談会を開催しました…………… P10
- 所管事務調査報告…………… P11
- きかせて！あなたのミライ…………… P12

会場：太田コミュニケーションプラザ

第1回臨時会 第2回定例会

議案審議

大仙市の

こんなことが決まりました。

第1回臨時会

会期1日間

4月23日

第2回定例会

会期22日間

5月28日～6月18日



第2回定例会



第1回臨時会

第1回臨時会

専決処分報告	7件
単行案	2件
補正予算案	1件

第2回定例会

人事案	2件
条例案	2件
単行案	4件
補正予算案	3件
陳情	4件
意見書	1件

今号では
この中から
6つを **Pick up**

全ての議案名と審議結果は、大仙市議会ホームページをご覧ください。



議案の審議結果 | 秋田県大仙市
www.city.daisen.lg.jp

〈議案第89号〉令和6年度大仙市一般会計補正予算（第1号）

Pick up 1

協和野球場スコアボードの更新 工事を行います。

昨年7月にサン・スポーツランド協和野球場のスコアボードが落雷により使用不能となっており、同会場は令和7年9月に全日本軟式野球連盟が開催する国内最高峰の大会といわれる「天皇賜杯全日本軟式野球大会」の会場の一つとなっていることから施設を更新するための工事が必要のため、スコアボードの更新工事を行います。

こんな質問が出ました。

Q せっかく素晴らしいスコアボードを導入するからには今後部品がないとか、修理ができないなどのトラブルがないようにしたいと思いますが、心配はいらないか。

A 各指定管理者にはメンテナンス料を含めた指定管理料を計上し、運営をお願いしている。今後、そうしたトラブルがないよう努めてまいりたい。



これまでの協和野球場スコアボード

〈議案第91号〉 大仙市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

Pick up 2

認定作業に迅速に対応するため 審査委員会を設置します。

近年、全国各地で頻発する激甚災害の発生及び被害状況を鑑みると、今後「災害関連死」など、災害弔慰金を支給するに当たり、自然災害による災害関連死に係る認定作業など、判断が困難な事案が想定されることから、今般、大仙市においても審査委員会を設置し、今後、発生する恐れのある「災害関連死」等に対し、迅速に対応するため「大仙市災害弔慰金等支給審査委員会」設置に向け条例を改正し、併せて、委員の報酬額を定めるものです。

こんな質問が出ました。

Q 災害弔慰金支給に当たり、その認定を行うための『災害弔慰金等支給審査委員会』の設置について規定することのことだが、これまでは市長の裁量で支給を決定していたのか。これまでは市長の裁量で行っていた。災害が頻発化・激甚化する中で、災害関連死に該当するかどうかを迅速に判断・対応するため、この度、設置するものである。

■一部改正の内容

- 1 市長の諮問に応じ、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項を調査審議する災害弔慰金等支給審査委員会を設置する。
- 2 委員5人以内（医師、弁護士、その他市長が必要と認める者）また、委員の任期は2年以内（再任可）。
- 3 所要の条文整理。
- 4 委員の報酬の額を日額20,000円とする。
- 5 施行期日 公布の日。

〈議案第95号〉 令和6年度大仙市一般会計補正予算（第2号）

Pick up 3

大仙市誕生20周年記念事業を 各地域において開催します。

大仙市のさらなる飛躍と発展に向けた有意義な機会となるよう、記念事業を企画し、市民と「共創のまちづくり」を進めます。

こんな質問が出ました。

Q 各地域で実施予定の記念事業と並び、大曲地域ではどのような事業を実施する予定か。また、大仙市と同様に、合併にちなんで20周年を迎える団体等への支援を行うことはできないか。大曲地域では本庁各課において、冠事業として企画しているところである。また、協賛事業を実施する団体等に対しては、補助金による支援を行うこととしている。



このまちと みんなの未来に 華よ咲け
公募により決定した、キャッチコピーとロゴマーク

【大仙市誕生20周年】を冠した事業一覧はこちら
の市ホームページをご覧ください。↓



〈議案第99号〉 大仙市B & G海洋センター設置条例を廃止する条例の制定について

Pick up 4

神岡B & G海洋センターを廃止します。

こんな質問が出ました。

神岡地域のB & G海洋センターは、施設の経年劣化により利用者の安全を確保できない状況となっており、利用者も減少傾向にあることから、施設の譲渡元である財団法人と廃止に向けた協議を行い、施設の設置を廃止するものです。

Q

用途廃止するに当たり、B & G財団側から条件はあったのか。

A 廃止に当たった条件として、市議会への説明と議決を得ること、地域住民への周知を行うこと、3年以内に施設を撤去し更地となった後の写真を提供すること、などの条件が示されている。

〈議案第100号〉 令和6年度一般会計補正予算（第3号）

Pick up 5

「屋内遊び場施設」を新たに整備し、子育て環境の充実を図ります。

子どもの遊び場施設整備に係る用地の地質調査費、および施設建設に係る国庫補助申請に必要な費用便益調査費として、1,948万8千円を補正するものです。

Q

こんな質問が出ました。

新しく作る屋内遊び場施設と老朽化している11カ所の児童館との関係性について、どのように考えているか。

A

市内にある児童館については、今回の遊び場を作ったからといって廃止するものではなく、適宜、修繕しながら使用していく。

〈議案第100号〉 令和6年度大仙市一般会計補正予算（第3号）

Pick up 6

西仙北めぐ森温泉「ユメリア」を改修します。

雨漏りが発生しているユメリアの屋上防水シートおよびトップライト改修工事費として、4,344万2千円を補正するものです。

こんな質問が出ました。

Q 発注はいつ頃になるのか、また、工期はどのくらいの期間を予定しているのか。利用者のためにもできる限り早めの対応を要望する。

A

工期初日は7月下旬、期間は4カ月を予定しているが、利用者のためにもできる限り早期の完成を目指してまいります。



討論

陳情第40号「学校給食にあきたこまちR以外の地産米提供を求める陳情書」

賛成討論

佐藤 文子 議員（日本共産党）

あきたこまちRは、重イオンビーム照射によりカドミウムの吸収抑制とともに人間の成長などに必要であるマンガンの吸収機能も抑制された米である。アミノ酸配列の変化によりアレルギー問題も懸念されるため、あきたこまちR以外の地産米提供を求めた陳情に対して賛成する。

陳情第41号「従来のあきたこまちとあきたこまちRの分別表示を、大仙市として消費者庁に意見書提出することを望む陳情書」

賛成討論

佐藤 文子 議員（日本共産党）

消費者憲章による消費者の八つの権利を無視し、販売、提供となる「あきたこまち」とする表示は、消費者に不安と混乱をもたらし、消費者を欺く行為であるため、分別表示をするよう求めた同陳情に対して賛成する。

令和6年第2回定例会 賛否一覧

議案等名	会派・議員名	議決結果	大地の会							だいせんの会					新政会			公明党		市民クラブ	日本共産党				
			鎌田正	金谷道男	大山利吉	佐藤育男	後藤健	山谷喜元	安達成年	青柳友哉	高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	石塚柏	橋村誠	高橋徳久	戸嶋貴美子	渡邊秀俊	小松栄治	小笠原昌作	橋本琢史	本間輝男	秩父博樹	挽野利恵	佐藤隆盛
陳情第38号 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情		不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
陳情第40号 学校給食にあきたこまちR以外の地産米提供を求める陳情書		不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
陳情第41号 従来のあきたこまちとあきたこまちRの分別表示を、大仙市として消費者庁に意見書提出することを望む陳情書		不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

賛成者は○、反対者は●とします。議長は採決に加わりません。

大山利吉議員、石塚柏議員、佐藤育男議員、古谷武美議員に永年勤続者表彰



左から順に大山利吉議員、石塚柏議員、佐藤育男議員、古谷武美議員

5月22日に開催された「全国市議会議長会第100回定期総会」において、大山利吉議員が在職20年以上の功勞により表彰されました。また、石塚柏議員が在職15年以上、佐藤育男議員、古谷武美議員が在職10年以上の功勞により表彰され、第2回定例会初日の本会議開会前に表彰状が伝達されました。

受賞おめでとうございます。

聞いてみたいな
こんなこと



一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活に関わる内容がありますか？

質問議員 7人 質問項目 14件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。各議員顔写真の下にあるQRコードを読み取り、ご覧ください。

災害時の乳児への対応について



高橋 徳久
(だいせんの会)



Q 現在、公共施設に授乳室やおむつ替えできる場所はあるか。

A 授乳室については健康福祉会館、神岡中央公民館や子育て支援拠点施設などに設置しており、おむつ交換については、公共・民間合わせて27施設において可能と把握している。

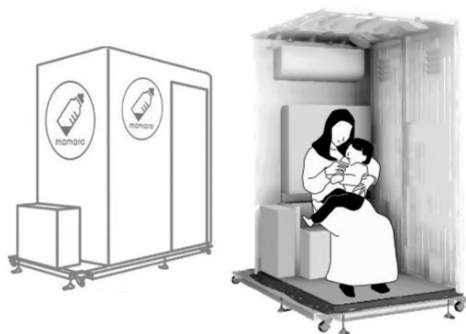
あるいは要支援者用施設などとして柔軟に運用できるものである。

平時においても授乳室について検討の余地があることから、野外イベント等でも使用できるユニット型ベビーケアルームの導入の是非を含めて検討していく。

この他、小中学校周年事業等において使用できる補助金を、予算措置する制度の創出について質問しました。

Q 災害時の対応として、授乳時にはソファに、おむつ替え時にはベッドになるユニット型ベビーケアルームを購入してはどうか。移動式であり災害時はもとより日常においても使用でき、野外のイベント会場でも活用することができる。

A 災害時、市内100カ所の避難所には、授乳室などとして別室を確保できる。さらに、移動式宿泊施設「レスキューホテル」の活用も想定しており、被災地に移動し、宿泊所や入浴施設、



空きスペースを有効活用し設置できる
ユニット型ベビーケアルーム

高齢者のための軟骨伝導イヤホンの配置拡充について



秩父 博樹
(公明党)



Q 本市の庁舎窓口では、耳が聞こえにくい市民の方に対して、どのような対応をしているか。

A 耳が聞こえにくい方への対応については、「ゆっくり、大きめの声でお話する。」「筆談や身振り手振りを交えて説明する。」といったような方法で、丁寧な対応を心掛けています。

しかしながら、大きな声で会話をするとすれば、その内容が周囲に聞き及ぶ可能性もあり、円滑な対応に苦慮することから、市民サービス向上の一環として、本庁市民課に4月から軟骨伝導イヤホン1台を設置した。運用に当たっては、市民課以外の窓口でも、利用を希望される方がいる場合には貸し出すこととしており、利用された高齢者などからは好評を得ている。

Q 各支所の窓口にも軟骨伝導イヤホンを設置してはいいか。



市民課に設置している軟骨伝導イヤホン

A 各支所窓口においても円滑な対応に苦慮する場合がありますので、本市の目指す「来庁者に優しい窓口」をより一層推進するため、本庁同様に軟骨伝導イヤホンを設置したい。

この他、「農業と食」活性化推進事業について、「あきた伝統野菜」に指定されている4品目を後世に伝えていくために、生産拡大につながる市の支援策の必要性について質問しました。

医療的ケア児の子育て支援について



青柳 友哉
(大地の会)



Q 医療的ケア児を適切な福祉・医療サービス等につなぐ仕組みは、十分に機能しているのか。

A 医療的ケア児等への支援を総合調整するコーディネーターの不足など、地域全体で医療的ケア児を支える仕組みづくりの面で課題がある。医療、教育、子育て、障害福祉サービス事業者などの関係機関から構成される大仙市地域自立支援協議会があり、障がいのある方の地域での生活を支えるためのシステムづくりを進めている。また、この協議会を運営する大仙市基幹相談支援センターが、関係機関との調整を行うハブの役割を担っている。現在、相談支援事業所に専任のコーディネーターが配置されていないので、配置を目指す。

Q 医療的ケア児の預け先確保のための支援を行なっているのか。

A 入院治療の必要性がない場合でも短期間の預かりを行うレスパイト入院制度による受け入れ体制が構築できないか検討している。小児病棟を有する市内の医療機関との協議を早々に開始したい。

【医療的ケア児】

日常生活や社会生活を営むために、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアを必要とする児童のこと。



新時代に向けた農業振興策の強化について



安達 成年
(大地の会)



Q スマート農業の推進についての見解を伺う。

A 土地利用型農業を推進する上で、大きな役割を果たすものと考えており、水稻や大豆、園芸作物等、自動操舵システムを活用したスマート農業技術の実演や研修会を開催するなど、農業者の要望に沿った、さらなるスマート農業の推進につなげていく。

Q 自動操舵システムへの支援を拡充するべきではないか。

A 国事業等の活用を基本としながらも、本市独自のスマート農業機械の導入支援を実施している。引き続き、国や県に対して要件の緩和や新たな支援制度の創設を強く要望していく。

Q R T K基地局の費用負担およびサービスの拡充をできないか。

A ライセンス料については、公益性の観点から利用する農業者が負担すべきものと考えている。

Q 防災の観点から水田の水口自動装置の支援策について伺う。

A 現在、装置の設置は実証段階であるが、防災要素を含めたスマート化を進めるため、国や県の支援制度の創設を強く要望していく。

その他、鳥獣被害対策実施隊員の報酬、市政20周年記念事業としての非常勤特別職の方々に対しての感謝状について質問しました。

カスタマーハラスメントについて



利恵 利恵
(公明党)



Q 市での「カスタマーハラスメント」についての考え、取組や計画などはあるか。

A カスタマーハラスメントと認められる事案に対しては、組織として職員を守り、公務が適正に遂行されるよう厳正に対処していく方針である。

現在、全職員を対象としてカスタマー被害の実態調査を行っており、行政サービスの水準維持にも留意しつつ、適切な対策を講じていく考えである。

Q 学校現場においては、保護者等からの相談全般には組織として対応することとしており、管理職を含めた複数の教職員での対応を徹底している。保育現場においても職員個人ではなく組織としての対応を徹底しているか。

A 学校現場においては、保護者等からの相談全般には組織として対応することとしており、管理職を含めた複数の教職員での対応を徹底している。保育現場においても職員個人ではなく組織としての対応を徹底している。

その他、子育て支援を行う企業への支援について、熊に関する情報収集と発信について質問しました。



学校給食の無償化について



佐藤 文子
(共産党)



Q

こども家庭庁のこども未来戦略では、学校給食無償化について「実態調査を行い、課題を整理する。」に留めているが、急拡大する無償化の流れは、国による無償化を後押しするものと考ええる。全国自治体の流れを踏まえ、大仙市でも学校給食無償化を決断すべきと考えるがどうか。

A

本市では、子ども・子育て支援の充実を重要施策の一つに掲げ、切れ目のない支援体系を組織横断的に検討する「子育て支援制度等検討会議」のもと、様々な取り組みを進めている。学校給食費の無償化もその一つと考えており、今後も国の動向を注視しながら子育て支援の枠組みで検討していく。

Q

大仙市での子育て支援策は他より進んでおり「住むなら大仙市」との話を聞く。教育費の一環でもある給食費の無償化を前進させてほしい。

A

こども未来戦略では、無償化はいつになるのかと感じた。これよりは先に市で実施していかなければならないという思いを強くしたところである。

この他、保育士配置基準と処遇改善について、食料・農業・農村基本法改定に関連して質問しました。



本市のディザスター（災害）対策について



戸嶋 貴美子
(だいせん会の会)



Q

過去の大規模震災では、トイレの衛生面で多くの問題が発生している。マンホールトイレを各支所や避難所等に設置してはどうか。

A

マンホールトイレの整備について、下水道の接続と汚物を流す水の確保など一定の条件が必要である。各支所や避難所等の調査を進め、防災拠点の新設や更新の際には計画時から検討に加えていきたい。

Q

災害時の水問題として、水循環機器の導入、上下水道施設の基盤強化、災害用井戸登録制度の導入を行っているかどうか。

A

水循環機器の導入については、需要などを調査・研究した上で今後対応していく。

また、上下水道施設の基盤強化については、上下水道

管改良事業により耐震化を図っているが、さらなる向上に取り組み、橋等の構造物に添架されている上下水道管の崩落防止を進めていく。

災害用井戸の事前登録については、今後、国の非常時地下水に関するガイドラインで具体的な指針が示されることから、その内容を精査し庁内で協議していく。



災害時に使用されるマンホールトイレ

市政懇談会を開催しました

6月24日～29日の6日間、大仙市議会「市政懇談会」を開催しました。

議員が5班編成で市内11カ所に出向き、議会の活動状況や令和6年度当初予算の主な事業について報告し、その後、市民の皆さまと活発な意見交換を行いました。地域の要望や生活に密着した課題や、市の施策に対しさまざまなご意見・ご提言をいただきました。

市政懇談会の詳細については、後日、市議会だよりでお知らせいたします。



市政懇談会への出席者数

開催日	場 所	人数
6月24日(月)	大綱交流館	23人
	協和庁舎	18人
6月25日(火)	神岡農村環境改善センター	26人
	南外コミュニティセンター	19人
6月26日(水)	内小友公民館	1人
	角間川公民館	6人
6月27日(木)	さくまろ館	4人
	おおたコミュニティプラザ	25人
6月28日(金)	四ツ屋公民館	8人
	中仙農村環境改善センター	15人
6月29日(土)	サンクエスト大曲	15人
計		160人

特集 ギカイのしくみ

総務企画常任委員会って、どんなじょうどう？

Q1 総務企画常任委員会は、どこを所管しているの？

A 総務部、企画部、会計管理者、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項のほか、他の常任委員会に属しない事項の審査を行います。

Q2 委員会協議会って、何をする会議なの？

A 招集手続きを経る委員会審査とは違い、所管事項等についての調整や当局からの報告案件がある場合に柔軟に開催できます。法律で定められた委員会活動ではないことから、協議内容・結果は、法的な意義を持ちませんが、所管する事項についてより深く議論する機会となります。



Q3 閉会中の継続審査とは？

A 会期中に議決に至らなかった議案等は、会期不継続の原則により消滅し、後会に継続しないこととされています。しかし、委員会に付託された議案等について「もっと詳しく調査したい」「経過を見て判断したい」となった場合は、議会の議決によって、会期終了後も引き続き委員会で審査・調査をすることになります。



総務企画常任委員会所管事務調査

6月10日、次の2件を調査いたしました。

【災害備蓄について(場所:はびねす大仙)】
昨年度、避難所開設実績のある同施設において、当局より当市における災害備蓄の状況等について説明を受けてまいりました。

備蓄に当たっては、県と市町村が共同で県全体の目標量を分担することとされており、当市が確保すべき目標量は必要な品目を全て確保し、最低限の数量を上回る評価であるとのことでした。

今後は、より速やかに避難物資の提供がかなうよう、さらなる分散備蓄の拡大に努めていきたいとのことでした。

【仙北地域における賑わい創出事業について(場所:仙北図書館前)】

彩色千輪プロジェクト事業により、仙北図書館前の屋外読書・休憩スペースと、飲食提供が可能な貸店舗の整備状況を視察しました。整備の進捗は順調で、店舗においては出店者も決まり、週内のオープンを目指しているとのことでした。

(総務企画常任委員会)

委員長 佐藤 芳雄 (記)



貸店舗や屋外読書・休憩スペースを視察



はびねす大仙にて災害備蓄の状況を伺う

産業建設常任委員会所管事務調査

5月8日、株式会社プレスステージ・インターナショナル様を視察しました。

秋田県内で「BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業」を行い、五つ目となる拠点を大仙市のイオンモール大曲内に4月下旬にオープンしております。仕事の内容はさまざまな企業の問い合わせ窓口としての電話対応が主で、損保会社や自動車メーカーからの依頼が多いそうです。

初めに2019年にオープンした「秋田BPO横手キャンパス」に伺い、拠点長の村上さんより、企業全体の概要や国内の地方拠点を紹介いただいた後、社内を見学。カフェテリアや軽い運動ができるスタジオ、保育園などがあり、社員の福利厚生や環境整備に力を入れておりました。

次に今年4月下旬にオープンした「秋田BPO大仙ランチ」を訪問。テナントを借りての開設は新しい試みだそうです。

プレスステージ・インターナショナルの離職率は10%と業界の中でも低く、また、その地域における雇用の創出と女性の活躍に努め、従業員の7割は女性とのことでした。

(産業建設常任委員会)

委員長 挽野 利恵 (記)



秋田BPO横手キャンパス内カフェテリア



秋田BPO大仙ランチを視察する様子

きかせて！あなたのミライ

大仙市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



すずき あきお
鈴木 秋雄 さん (太田東小学校6年)

■僕が野球を始めたきっかけは、甲子園での金足農業の活躍を見て感動し、父とキャッチボールをしたことからです。小3で入部して、野球を通して最高の先輩・後輩と出会い、楽しく野球をしています。監督、コーチ、お父さん、お母さんたちのご協力で、全力投球できています。感謝しかありません。■ポジションはピッチャーと内野ですが、外野もやってみたいです。色々な試合で他のチームの友達もできました。友達を作ることは大切なことであり、どんどん広めていきたいです。■僕は将来、強い社会人チームのある会社に就職して全国大会に出場!! いつまでも野球をやってみたいです。

9月定例会

日	月	火	水	木	金	土
8/18	19	20	21	22	23 本会議 議案等上程	24
25	26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4 本会議 一般質問	5 本会議 一般質問等	6 各常任委員会 審査～11日	7
8	9	10 各常任委員会審査	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 本会議 委員長報告等	21

※定例会日程は変更される場合があります。
変更内容は、議会ホームページでお知らせします。



市議会だよりのご感想などをお寄せください

市議会だよりのご感想や大仙市議会に対するご意見、ご要望などを次の方法により、議会事務局へお寄せください。

- ①郵 送 ・宛先：〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて
- ②FAX ・番号：0187-62-8822 (議会事務局専用)
- ③メール ・アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp

こちらのQRコードからメールを作成いただけます。



議会の傍聴について

本会議および委員会は公開されており、傍聴することができます。傍聴をご希望の方は、議会開会日に、大仙市役所3階議会事務局窓口までお越しください。

請願・陳情について

9月定例会で審査される請願・陳情は、8月14日(水)までに提出されたもので、それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

編集後記

委員

秩父 博樹

■パリ五輪が開幕した。本市出身の鈴木優花選手には、大舞台を大いに楽しんでもらいたい。もう一つの五輪であるパラリンピックの起源は、ロンドン郊外の病院でリハビリの一環として始まったアーチェリー競技大会。1988年の大会から「パラレル (もう一つの)」+「オリンピック」という意味で、「パラリンピック」という名称になった。■五輪が「平和の祭典」なら、パラリンピックは「人間の可能性の祭典」だ。2020東京パラリンピックの開会式のテーマは「翼」だった。■片翼の小さな飛行機が、大空に飛び立つ勇気を持つまでの物語を13歳の少女が演じ、世界中に感動を呼んだ。障がいの有無に関係なく、全ての人が自身の可能性を発揮できる社会環境の整備に力を尽くしたい。

FacebookとInstagramで議会の情報を発信しています



Facebook



Instagram

あなたのギカイ 12